

母塾

VOI・14

2019・2・25



新小岩幼稚園・未就園児クラス

『先々週の悩み』

アドバイザー 猪之鼻晴子

月に2度ほどの未就園児クラスのママたちに声をかける。
「その後はどう？落ち着いたきた？」
「うーん。でもまだ大変。」
2歳児の子と毎日24時間過ごして追いかけることに大変そうだ。
「でも。もっと違う悩みが出てきて・・・」

何にでも「いや、だめ」を言い、思い通りにならないと寝転んで動かない。
おともだちを押して欲しいおもちゃを奪い取る。
何も食べない。夜眠らない。歯みがきを嫌がる。オムツを外して逃げる。
ママの思い通りには動いてくれない子どもとの格闘の日々。
赤ちゃんの時の方が楽だったのに。抱っこして自由に動けた。
1才・2才になると子どもの意思が出てきてママの思う通りにはいけなくなる。

確かに2才になると、ママが「もうやっていけないかもしれない」と思うような「地獄の期間」がある。ママは自信を失い、「私がだめなのかな」と自己嫌悪にもなる。虐待のニュースを聞いて、「ちょっと、気持ちがわかるかもしれない」と思う。それほど親と子の意思疎通が難しい時期なのだ。
6回目でも「地獄の期間」をはちゃんとやってきた。
何度、公園やスーパーから走って逃げるように帰ったか。
大騒ぎされてバスを途中で降りたり、赤ちゃんを見れば押し倒してしまい謝り通した。それを越えて思うことは。

- ① 期間限定である……永遠に続くかと思われるが、必ず終わりが来る。
真っ暗なトンネルは意外とあっさり終わる。
- ② 「かわいいものだった」と必ず思う……トンネルを越えたら、そこはまた違うトンネル。
子どもは日々驚くほどの速度で成長している。
ちゃんと次の思い通りにならない事態を招いてくれる。
その時に必ず「ああ2才なんてかわいいものだったな」と思う。
- ③ ママも成長している……先々週何を悩んでいただろうか。思い出せない。
日記をめくってみる。そこには泣き言が書いてある。
それを見てまた思う「私もかわいかったな。」と。
先々週の自分に言ってあげたい。
「大丈夫。トンネルは抜けるから。それより複雑なことが来るよ。」と。

23才のことも思い悩み、15才の心配をしている。トンネルは次々やってくる。
「あんなのかわいいものだった」と思えるほど、子どももママも止まってはいないのだと思う。